0	校	を	性	そ	そ	あ	н	建	\chi^	強	0	子	t l	じ		祖		
子	0	選	的	0	0	ŋ	年	築	Ġ	V	で	が	٤	た	未	母	建	_
0	パ	択	な	時	職	`	生	の	\ \	0	`	多	女	0	だ	0	築	女
写	ン	L	4	£	に	自	0	2	L	進	そ	<	子	高	12	反	関	性
真	フ	た	の	選	就	分	時	٤	カュ	路	0	`	高	校	男	応	係	目
が	レ	カュ	ば	択	٧١	0)	に	は	お	調	方	看	か	で	性	は	0	線
載	ツ	ŧ	カュ	0	て	興	は	よ	5	查	面	護	5	ŧ	的		勉	0
せ	1	覚	ŋ	中	٧١	味	職	<	ず	を	で	系	共	そ	な	女	強	建
7	を	え	で	に	る	0)	業	わ	先	L	は	P	学	れ	1	0)	を	築
あ	見	て	建	は	方	あ	に	カュ	生	7	学	介	に	は	X	子	L	_
る	る	V	築	看	か	る	2	Ġ	12	ŧ	校	護	な	感	1	が	た	
が	٤	な	な	護	5	職	V	な	進	建	側	系	2	じ	ジ	建	V >	
実	2	V	ど	`	直	業	て	\ \	路	築	ŧ	12	た	`	が	築	٤	
際	れ	0	な	介	接	12	話	け	相	志	バ	進	学	私	強	?	家	
は	見	大	<	護	話	2	を	ك	談	望	ツ	む	校	0	V	_	族	
ま	よ	学	`	`	を	V	聞	_	を	0	ク	生	0	高	£		12	
だ	が	\$	自	保	聞	7	<	が	L	生	ア	徒	せ	校	0		話	
少	l	専	分	育	٧١	実	機	前	て	徒	ツ	が	٧١	は	だ		L	
な	に	門	が	٢	た	際	会	置	£	は	プ	多	か	ŧ	٤		た	
V	女	学	何	女	0	に	が	き	_	私	が	V	女	٤	感		時	20 × 20

 \circ 20×20

					1			 					1 1						
<	つ	わ	2	\$	科	見	ろ	学	の	ん	高	少		う	要	男	子		0
ŋ	て	な	た	だ	を	学	ん	は	見	で	校	な	実	職	で	性	で	し	で
聞	よ	٧١	が	つ	選	コ	な	あ	学	V	三	<	際	業	あ	カゝ	あ	カゝ	は
け	<	ح	自	た	ん	Ì	科	2	が	た	年	建	`	な	る	5	ŋ	L	0
て	`	`	分	0	だ	ス	カュ	た	あ	0	に	築	高	0	0	の	娘	家	
質	_	ح	の	で	0)	を	Ġ	が	2	そ	な	0	校	12	女	目	:	に	
問	人	思	進	友	は	選	選	建	た	ん	る	方	生	周	性	線	٢	暮	
£	な	\ \	路	達	私	ん	ベ	築	0	な	前	面	0)	囲	が	が	老	5	
L	0	見	な	٤	だ	だ	る	0	8	時	12	に	時	0)	t	あ	若	す	
放	で	学	0	同	け	0	専	大	は	12	調	進	は	環	2	れ	男	0	
題	話	に	だ	じ	で	言	門	学	り	学	查	む	私	境	ح	ば	女	は	
0	ŧ	臨	カュ	科	あ	う	学	は	看	校	す	-	t	が	進	女	合	父	
۲	私	ん	Ġ	に	る	ま	校	な	護	で	る	٤	女	よ	出	性	わ	で	
0	0	だ	L	L	0	で	が	か	P	大	コ	12	性	V	L	カュ	せ	あ	
時	~	0	2	よ	正	£	組	2	介	学	1	迷	0)	٤	て	6	た	ŋ	
ば	1	そ	カュ	う	直	な	ま	た	護	`	ス	2	1	は	ŧ	0	家	母	
カュ	ス	れ	ŋ	カュ	_	٧١	れ	0	関	専	選	て	メ	言	V)	目	族	で	
ŋ	で	が	向	٤	人	が	て	で	係	門	択	お	1	え	V	線	で	あ	
は	じ	か	き	£	は	建	V	`	0	学	に	ŋ	ジ	な	٤	£	あ	ŋ	
建	2	え	合	思	<i>\</i> \	築	る	٧١	大	校	悩	`	は	V	思	必	る	息	2 2 20

∘ ∘ 20 × 20

					1			1								1			
人	聞	ラ	門	話	^	た	子	は	ら	周	生	3	生	多	生	が	色	£	築
が	<	ス	学	を	0	面	育	自	男	ŋ	は	ン	卒	V	が	増	々	女	に
多	と	に	校	聞	誘	で	て	宅	性	な	女	で	業	そ	増	え	話	性	人
カュ	昨	七	の	٧١	V	£	L	0	よ	ど	性	ŧ	設	う	え	て	を	0	気
2	年	人	入	て	文	建	な	パ	り	家	0	感	計	だ	て	き	聞	建	が
た	よ	は	学	建	句	築	が	ソ	女	事	ほ	じ	コ	0	き	て	٧١	築	な
け	b	少	式	築	で	は	6	コ	性	を	5	た	ン	そ	て	お	た	業	<
れ	多	な	で	0	t	女	仕	ン	目	行	が	が	ク	れ	セ	ŋ	0	界	て
ど	V >	V	女	道	あ	性	事	か	線	j j	多	`	ì	は	ン	`	工	で	よ
普	Ġ	か	子	12	る	的	を	5	で	ス	カュ	最	ル	最	ス	そ	業	0	カュ
通	L	な	ŧ	進	٤	カュ	続	で	利	~	2	終	0	近	が	の	系	在	2
科	V 1	٤	意	む	は	£	け	\$	点	ì	た	選	公	聞	あ	専	0	ŋ	た
出	0	Ł	外	決	思	L	6	図	を	ス	0	考	開	き	ŋ	門	中	方	ك
身	工	思	12	心	2	れ	れ	面	き	は	ま	に	プ	12	成	学	で	が	思
0	業	2	多	が	た	な	る	を	カュ	`	た	残	V	行	績	校	は	話	2
人	高	た	<	2	け	٧١	0	書	せ	使	`	2	ゼ	7	0	で	建	題	た
\$	校	が	驚	٧١	れ	ح	そ	け	Ġ	う	丰	て	ン	た	良	ŧ	築	ك	0
V	出	先	き	た	ど	0	5	る	れ	頻	ツ	V	テ	東	\ \	女	は	な	そ
7	身	生	`	0	そ	学	٧١	0	`	度	チ	た	1	海	人	子	女	ŋ	۲
`	0)	に	ク	専	0	校	2	で	今	カゝ	ン	学	シ	学	が	学	性	`	で

					 														
が		だ	に	木	0	居	り	£	合	我		て	ま	が	家	ま	た	は	進
\	祖	0	来	を	隣	12	片	と	٧١	が	_	£	た	な	は	り	が	全	路
前	父		て	座	0	は	手	8	の	家	年	5	女	<	な	人	建	国	相
0	が		<	敷	ス	そ	に	と	あ	に	前	٧١	性	な	<	気	築	共	談
家	介		れ	0	~	の	加	宮	る	新	`	た	が	る	て	が	は	通	0
で	護		た	柱	1	場	工	大	設	築	ず	V	入	2	は	な	景	な	_
は	状		人	ک	ス	所	L	工	計	が	2	0	ŋ	٤	な	V	気	0	建
祖	態		が	天	に	の	て	で	事	完	٢		\$	は	5	0	12	が	築
父	で		感	井	建	姿	٧١	家	務	成	家		す	な	な	L	影	判	0)
0	母		心	に	て	が	る	0	所	L	を		٧١	V	V >	カゝ	響	明	2
部	カミ		L	使	た	残	姿	前	に	た	建		よ	0	4	L	さ	0	٤
屋	面		て	2	0	さ	が	で	お	0	て		う	\$	0	衣	れ	進	は
は	倒		<	て	だ	れ	格	木	願	何	た		な	う	0	食	\$	路	よ
1	を		れ	<	が	て	好	材	٧١	年	V		環	少	建	住	す	相	<
イ	見		る	れ	そ	٧١	良	を	し	カゝ	٤		境	L	築	ح	<	談	わ
V	て		自	た	2	る	カュ	電	た	前	V		作	見	٤	٧١	`	会	カュ
カュ	٧١		慢	0	に	0	2	動	0	カゝ	2		ŋ	直	V	う	最	で	6
5	た		の	家	あ	前	た	0	社	Ġ	て		を	さ	う	だ	近	4	な
_	0		部	を	2	0	0	2	長	付	V >		考	れ	職	け	は	聞	V
番	だ		屋	見	た	家	新	ぎ	は	き	た		え	て	業	12	あ	V	_
														`				0/	0×20

 20×20

た あ た お た お た な 元 で で た た た の 欠 で た た た の 欠 で た か																			
か 海 の い 。 計 て も れ 世 も 言 。 ど 見 く 負 の 日 工工 社 。 そ 事 く ら た た 祖 葉 あ こ 守 な ね 担 部 当 み 葉 長 目 ん 務 れ え 親 こ 父 が と の ら り も 屋 た の ら り も 屋 た の ら り も 屋 た の ら り も 屋 た 郎 か と の ら り も 屋 た 郎 か た で 郎 日 一 部 れ 入 軽 の り い ま む は 風 の 。 お や は と 象 カ 屋 る 退 く 近 も も も か か 屋 む 返 で ら り も 屋 を 練 た 介 な 動 思 尽 な 版 い 人 せ て だ 間 ら 息 を 繰 た 介 な な 動 思 々 族 い 人 せ て だ 間 ら 息 を 繰 た 介 な な か な 金 座 の っっ に の ち が だ 家 っっ に 庭 を 繰 た 介 な な エ 山 単 変 ぎ も 謝 い ん こ た と 。 わ 桜 き 返 思 用 っ た と と そ な が 取 し う ト た か な ア り ら の を 幸 ん と と そ な が 取 し う ト た の 日 田 田 日 手 る 持 に だ に う に で っ れ た 月 冬 レ で チ 単 中 に 建 ち 託 っ い 。 新 ち た い 。 か に 夕 自 と 配 新 居 て れ く 」 を 配 家 儀 い 半 。 見 の 宅 う 置 居 下 で と し で で と で に れ く 」 を に 家 年 と え っ で と し で で と し で で と し で で と し で で と か か な に 欠 自 と 配 新 居 に か な に 家 年 と え っ で と し で で と し で で と し で で と し で で と し で で と し で で と し で で と か な な に な か ま か に な な に な ま な な に な ま な な な に な な に な れ く 」 と む む な な な に な ち が 居 に か か ま た い い 。 か 居 居 に か な に な れ く 」 と む な な な に な ま な な な な な な に な ま な な な な な	た		る	り	<	た	話	て	て	過	け	つ	0	ょ	族	危	母	祖	遠
工 社 。 そ 事 く ら た 社 要 方 な 担 部 当 み 業 良 目 ん 務 れ え 親 こ 父 が と の ら り も 屋 た き 専 の 様 な 成 た こ な が と の ら り も 屋 た の り も 上 と の の ら り も 上 上 よ カ 上 上 上 よ カ カ 中 い か カ </td <td>な</td> <td>東</td> <td>あ</td> <td>た</td> <td>る</td> <td>設</td> <td>し</td> <td>て</td> <td><</td> <td></td> <td>で</td> <td>た</td> <td>に</td> <td>う</td> <td>12</td> <td>な</td> <td>0</td> <td>父</td> <td> < </td>	な	東	あ	た	る	設	し	て	<		で	た	に	う	12	な	0	父	<
五 世 で 事 く た た 担 条 と の ら り も 量 た 日 ん え 親 こ で か と の り も 日 た の り も 日 た の り も 日 か 中 院 か 日 か 中 院 か よ<	カュ	海	0	V	0	計	て	£	れ	せ	£	言	0	ど	見	<	負	0)	日
き 専 の 標 な 所 た て 戚 と に 印 一 部 れ 入 軽 の り 別 は 風 の 。 お や は と 象 カ 屋 る 退 く 近 も 泉 カ 屋 る 退 く 近 も 泉 カ 屋 る 退 く 近 も 泉 カ 屋 る 退 く 近 も 泉 か 屋 を か 中 院 な く 良 な 動 思 々 族 い 人 せ て だ 間 ら 息 を っ に く 葉 金 産 の っ に の ち が だ 家 っ に 庭 を 繰 た 介 な エ 山 祭 こ て 感 思 や 「 っ 族 た 合 の 引 り と 護 か 学 校 家 ぎ も 謝 い ん こ た と 。 わ 桜 き 返 思 用 っ た と と そ な が 取 し う ト た で っ れ た 月 冬 レ で 年 中 ー ー に 建 ち 託 っ い 。 新 も た い 。 介 に を 配 新 も た い 。 第 も だ に う に で っ れ た 月 冬 レ で チ 中 ー ー に 建 ち 託 っ い が		工	社	0	そ	事	<	5	た	た	祖	葉	あ	2	守	な	担	部	当
一 日<	み	業	長	目	<i>h</i>	務	れ	え	親	2	父	が	٤	の	5	ŋ	4	屋	た
学 う 電 に 方 家 じ 知 幸 つ 的 月 か 中 院 な く 良 建 校 事 思 レ 大 大 大 日 市<	き	専	の	標	な	所	た	て	戚	٢	に	印	_	部	れ	入	軽	0	ŋ
建校 な動 思 々族 い人 せてだ 間ら息をつっにくくなかかだ家っにに戻をを繰った介かなかだ家った。 工山 集のつっにののちがだ家った。 たの引りとさ 機のの引りとき かからととっかるとのの引りとき 学校 家ぎも割いんこたと。かねをきるが取しうトた。 科 だりらのを幸んととそなが取しうトた。 の方え気家せな思むれかきっこ。 イのの一年のので、 中中 にだにうりにでっかれた月冬レで、 持築がしたい。新し、なに父母とと配置に が変流したい。 ない、単し、なに父母とと配置に がまい、 ない、単し、 がまい、 を配置に がまい、 ない、 大きのない。 ない、 大きのない。 ない、 大きのない。 ない、 ない、 ない、 をにない。 ない、 大きのない。 ない。 ない、 ない。 ない、 ない。 ない、 ない。 ない。		門	よ	は	風	の	0	お	B	は	ح	象	カ	屋	る	退	<	近	£
葉金 建のつっにのちがだ家っに庭をか繰た介かな 学校家ぎも謝いんこたとのか後き返用用のたりらのを幸んととそなが取しうトトたの方にでからのをすな思もれかきっここ。イのの一日 日田		学	う	電	に	方	家	じ	知	幸	7	的	月	カゝ	中	院	な	<	良
工山	建	校	な	動	思	々	族	V	人	せ	7	だ	間	5	息	を	2	に	<
学校 家ぎも謝いんこたと。か桜き返 科 だりらのを幸んととそなが取しうトた。 ったった。 ととれかきつこ。 イイのの日 日田 手る持にだだにうにでつれた月冬レでであまた。 年中 に健ち託のい。新もたい。 方 たい。 本のでをからまた。 ない。 ない。 おこれない。 ない。 ない。 ない。 おこれない。 ない。 おこれない。 ない。 ない。 ない。 おこれない。 ない。 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	築	金	建	0	2	に	0	5	が	だ	家	7	に	庭	を	繰	た	介	な
科 だ り ら の を 幸 ん と と そ な が 取 し う ト た 一 日 た え 気 ま せ な 思 も れ か き 込 カ ト た の ー 日<	工	Щ	築	2	て	感	思	や	_	2	族	た	合	0	引	ŋ	٤	護	カュ
○ 片え気家 世な思もれかきつ三○イののでは、 一田 手る持にだにうにつかれた月及にため、 年中 にまりにからなにをからない。 持築がしたい。 なになんなにならに、新し、ないない。 美の家益である。 でと配新居 大なになる。 なにならになられる。 大なになる。 ない半」。 大なになる。 ないまらならになる。 大なになる。 ないまらならならいない。 大なになる。 ないまらならならいない。 大なになる。 ないまらならいならいならいならいならいならいならいならいならいならいならいならいならい	学	校	家	ぎ	4	謝	V	h	۲	た	٤	0	わ	桜	き	返	思	用	2
一田 手る持にだにうにつかれた月冬レで 年中 に建ち託のいっかたり 作・中 た建ち託のいか。 赤 がしたい。 本の家治では、 大なに久自と配新 大なに久自と配新 大なに久自と配新 大なになった。 大なになった。 たなった。 たなった。 たなった。 たなった。 たなった。 ためまる。	科		だ	ŋ	5	の	を	幸	ん	٤	٤	そ	な	が	取	し	う	<u>۲</u>	た
年中 に建ち託っい。新もたい。 持築がしたい。葬し、なに父自と配新 美っ家溢てね家儀い半」。 てにれく」。をに家年とえる。 なままる。 なまままる。 なままる。 なまままる。 なまままままままままままままままままままままままままままままままままままま			0	片	え	気	家	せ	な	思	\$	れ	カュ	き	7	三	0	1	0
年 中		田		手	る	持	に	だ	に	う	に	で	2	れ	た	月	冬	レ	で
美 つ な に 文 目 と に 対 美 つ 家 強 い 半 」 見 の 宅 う 置 居 者 こ た な た ま こ た ま こ た ま こ た ま こ た ま こ た ま こ た ま こ こ た ま こ<	年	中		に	建	ち	託	2	٧١	0	新	4	た	٧١	0	`	に	を	`
美 つ 家 盗 て ね 家 儀 い 半				持	築	が	L	た	٧١	葬	L	`	な	に	父	自	논	配	新
一		美		2	家	溢	て	ね	家	儀	<i>\\</i>	半		見	の	宅	う	置	居
		希		7	に	れ	<		を	に	家	年	ح	え	_	で	と	L	で
				V	な	て	れ	٤	建	来	で	だ	言	る	ち	家	う	て	は